

# 京あれこれ

## 秋 AUT OMN VOL.11

京都新聞  
©京都新聞社 2016年

2016.09-10

# 京浪漫

○たとえば、京都を舞台にした幕末のあれこれに思いをはせる、思いをかき立てられる、思いを巡らす。過去から現在、そして未来へ。京都はその思いを受け止めてくれる。時代は流れ、歴史は刻まれ、確かに今につながっている。そこに浪漫がある。じっくりゆつくり。

今回のテーマは「浪漫京都」。通り過ぎる風が深まり、空気が透き通る季節。想像力をくすぐる浪漫に満ちた、京都の秋の特集です。

秋特集  
京特

角屋 (写真=中田 昭)  
企画・制作=京都新聞COM

「マールデニッシュ  
パンプキン」



豊かな実りを感じる濃厚な甘さに  
レーズンの風味がアクセント。

12月31日まで限定発売

LOVE MARBLE  
20th Anniversary  
GRAND MARBLE

おかげさまで、グランマーブルは  
創業20周年を迎えました。

メモリアルに初期の人気レシピを特別に復刻。やさしい甘さとプリンになったルックスが魅力。

20周年の感謝をこめて、  
特製の「オレンジボックス  
ふせん」付です。



20th  
ANNIVERSARY

グランマーブル20周年記念  
「プリン」復刻



GM

GRAND MARBLE  
KYOTO

SHOP

グランマーブル紙園

ル・グランマーブル カフェクラッセ

グランマーブル ファクトリー店



www.grandmarble.com

© GRAND MARBLE Corporation.





茶道具

「茶の湯文化」が花開き、多くの茶道の流派が生まれた京都。お茶に関わる多くに、各地のものが使われています。お茶を点てる際に使われる茶筌はほとんどが奈良県産、茶碗は全国の窯元で焼かれ、鉄器は南部鉄器で有名な岩手県産のものも使われるなど、「茶の湯文化」はまさに各地のチカラでできています！



京和傘

過度な装飾を廃したシンプルさと上品さを併せ持つ「京和傘」。和紙は、傘に合わせて越前和紙(福井県)、五箇山和紙(富山県)、美濃和紙(岐阜県)などを使い、竹は、京都府産や岐阜県産を使用しています。職人の手を経て自然素材の特性を読みながら作られた京和傘には、機械生産には無い緻密さがあります。

文化のチカラで  
日本を元気に

京都の決意です



京料理 鰻の吸い物

京都の人々に愛される、夏の味覚のハモ。再び脂がのる秋は「名残ハモ」とも呼ばれ、京都では瀬戸内海近海産が多く食されています。また「だし」も京料理には欠かせません。「だし」には北海道産の昆布などが使われ、味に深みを与えています。



元離宮二条城

二条城は徳川家康が築城し、15代将軍慶喜が大政奉還の意思を発表した舞台です。城内に使用されている金箔はほとんどが石川県産。そして、現在の修復で使用している瓦は岐阜県産。日本の歴史的な転換を演出した舞台は、各地のチカラで支えられています。

舞妓

京都で芸事を身につけるため、日夜稽古に励む舞妓さん。特徴的なお化粧に使われるおしろいは埼玉県など関東近郊で作られ、かんざしなどにあしらわれているべっ甲は長崎県や大阪府などで加工されたものが使われています。「地域のチカラ」が舞妓の芸と美しさをより一層引き立てています。

文化庁が京都に移転します

京都に代表される日本の文化や伝統、それらは全国各地の産業・ものづくりに支えられています。日本の文化を振興し、その魅力を世界に発信していくことは、全国津々浦々を元気にすることに繋がります。

平成28年3月、文化庁の京都への全面的な移転が決定しました。

文化の力で待ったなしの地方創生を、各地域とともに進めていく。文化の力で日本全国を元気にしていく。

京都の決意です。

